

令和6年度 沖縄県立知念高等学校 学校評価のまとめ

1 評価実施期間

- ・職員……………令和7年1月14日(火)～令和7年1月24日(金)
- ・生徒、保護者……………令和7年1月14日(火)～令和7年1月31日(金)
- ・学校関係者……………令和7年2月12日(水)～令和7年2月28日(金)

2 回答率

生徒(91.8%)職員(83.0%)保護者(42.5%) 学校関係者(100%)

3 各評価の考察

(1) 職員による評価について

①評価は12分野41項目。

「教育目標」「教育計画」「各教科・科目指導」「特別活動」「生徒支援」「進路指導」「健康・安全指導」「図書・視聴覚」「環境美化」「研修」「家庭・地域」「働き方改革」

②評価の高い項目…「達成した」と「ほぼ達成した」を合計した上位3項目。

1	【特別活動】本校の生徒会活動は充実していて活発である。	100.0
2	【家庭・地域】本校は保護者への情報提供に努めている。	100.0
3	【各教科・科目指導】本校は探求学習の充実に力を入れている。	98.1
3	【生徒支援】学校は人権意識(偏見や差別が無いこと)の向上に努めている。	98.1
3	【図書・視聴覚】本校は図書館の図書が充実し活用されている。	98.1
3	【家庭・地域】三者面談は有効に機能している。	98.1

昨年度から「働き方改革」の項目を追加し、41項目を設けた。そのうち肯定的な数値が高かったのは上記6つの設問であった。特に昨年度の課題の一つであった「人権意識に根ざした生徒指導」の項目で達成率が高く、研修等での周知が浸透した結果である。今後も継続して生徒が安心して過ごせる学習環境作りに努めたい。また、働き方改革の観点から職場の同僚、管理者との関係や連携は良好と判断している割合が高かった。今後も働きやすい職場環境作りを推進していきたい。

③評価の低い項目…「達成していない」と「あまり達成していない」を合計した下位5項目。

1	【働き方改革】個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができていない。	71.2
2	【働き方改革】より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実していない。	40.4
3	【進路指導】私は宿題を与える等、家庭学習の習慣化を図る努力をしている。	36.5
4	【環境美化】本校の施設・設備は充実していない。	32.7
5	【働き方改革】心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成ができていない。	30.8

昨年に引き続き、否定的な回答の上位に「働き方改革」に該当するものが複数挙がっている。教職員の長時間勤務が課題になっている現状から、校務の整理と精選に早急に取り組み、ワークライフバランスのための時間の確保を図りたい。施設・設備については「80周年記念事業費」も活用しながら整備していきたい。

(2) 生徒アンケートについて

①評価は7分野30項目。

「教科指導」「進路指導」「生徒支援」「図書・視聴覚」「環境美化」「諸活動」
「家庭連携」

②評価の高い項目…「そう思う」と「ややそう思う」を合計した上位5項目。

1	【諸活動】部活動が充実し、節度ある活動になっている。	97.4
2	【生徒支援】本校は、生徒のプライバシーや人権（差別や偏見などが無いこと）が守られている。	96.6
3	【図書・視聴覚】図書館は図書資料が充実していて、利用しやすい。	95.7
3	【生徒支援】先生は、命の大切さや社会のルールなどについて教えてくれる。	95.7
5	【生徒支援】身なり指導や遅刻の指導が徹底している。	95.6

生徒の本校に対する評価は、生徒支援の項目で高くなっている。令和6年度は問題行動等で指導される生徒も少なく、いじめ等も確認されていないことにも合点がいく。今後も全職員で人権を意識した生徒支援を心がけ、生徒が活発に活動し、充実した学校生活を送れるよう支援していきたい。

③評価の低い5項目…「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した下位5項目。

1	【進路指導】進路指導室は使いやすい。	27.4
2	【生徒支援】本校の生徒は授業中と休み時間のけじめがはっきりしている。	16.9
3	【進路指導】本校の生徒はしっかり勉強している。	16.4
4	【環境美化】教室内は整理整頓されている。	14.9
5	【進路指導】「群星」等の進路情報が充実していて、進路決定に役立っている。	13.7

否定的な回答としては、昨年度と同様の結果であった。特に進路室や進路情報の活用について、利用しやすい環境を整える必要がある。また、自主的・主体的に学習に取り組む姿勢は前年度と同じく本校生徒の課題であり、自覚を促し目標とする進路実現に向けて意識を高める工夫が必要と考える。今後も継続してしっかり指導・支援して行きたい。

(3) 保護者アンケートについて

①評価は7分野20項目。

「教育目標」「学習指導」「進路指導」「生徒支援」「環境美化」「諸活動」
「家庭連携」

②評価の高い項目…「そう思う」と「ややそう思う」を合計した上位5項目。

1	【生徒支援】生徒は、学校生活を楽しんでいる。	88.9
2	【諸活動】部活動が充実し、節度ある活動になっている。	86.2
3	【生徒支援】服装容儀や遅刻等の指導が徹底されている。	84.3
4	【教育目標】教育目標を踏まえた、教育活動が行われている。	83.8
5	【環境美化】清掃が行き届いてきれいである。	78.9

保護者の回答では、昨年度同様「生徒支援」に関する設問と「諸活動」に関する設問で高評価であった。生徒の回答と同様に、学校が足並みを揃えて生徒支援に取り組み、その結果、安心・安全な学校生活を生徒が遅れていると感じている保護者が多いことがうかがえる。

③評価の低い項目…「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合計した下位5項目。

1	【学習指導】家庭学習の習慣化に取り組んでいる。	34.2
2	【環境美化】施設・設備は充実している。	26.1
3	【家庭連携】本校と保護者の連携は密になされている。	22.1
4	【家庭連携】三者面談は有効に機能している。	16.1
5	【生徒支援】先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	13.4

昨年度同様、全体的に否定的な意見は少ない傾向である。しかし、「家庭学習」の習慣化は本校の大きな課題の一つと認識しており、継続して学校全体として取り組んでいく必要がある。「家庭連携」も2項目が評価が低くなっている。教育活動の充実のためには、家庭との連携は大事な要素であり、今後とも、保護者と連携し信頼される学校作りに邁進していきたい。

(4) 学校関係者による評価について

①評価は12分野35項目。

「教育目標」「教育計画」「各教科・科目指導」「総合的な探究の時間」
「特別活動」「生徒支援」「進路指導」「健康・安全指導」「図書・視聴覚」
「環境美化」「研究・研修」「家庭・地域」

②評価の高い項目

おおよそ教育目標、教育計画、教科指導、特別活動、生徒支援、進路指導等の領域で高い評価であった。今後とも、信頼を継続できるように取り組んでいきたい。

③評価の低い項目

35項目の中で「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答は一つもなかった。しかし、「施設・設備は充実している」の項目のみ、「そう思う」という回答がなかった（『ややそう思う（3名）』『よくわからない（1名）』）。職員や保護者アンケートでも評価が低かった項目であるので、周年事業等の機会も活用しながら改善に努めたい。

④その他（記述式回答2件）

- ・学校だよりやアンケート結果をもとに回答させて頂きましたが、兎にも角にも先生方の努力には頭が下がります。より良い環境で仕事ができることを願うばかりです。
- ・日常の学内の状況を詳しくはあくできているわけではないので、部分的な情報をもとに回答させて頂きました。ただし、来校する度にすれ違う生徒の皆さんの礼儀正しい姿からは、意欲的に学ぶ環境が整っているものと捉えています。今後も地域の高校として有意義な取り組みを期待しています。